

自分の仕事がビルの価値を高め、お客様からの信頼につながる喜び

株式会社ユービ
内藤 治希さん(30歳)

大学卒業後、不動産会社でオフィスビルの賃貸営業や売買仲介を約3年経験。その後株式会社ユービに転職。ビルメンテナンス管理を経て、現場で清掃を行う部署に異動。現在はガラス清掃を行うほか、現場責任者も担当している。



ガラスに付着した汚れをこそぎ落とすスクイッジやウォッシュナー、ヘルメット、ハーネスなど、仕事をするためにどれ一つ欠かせない道具たち。ユービでは安全のため、登山用の特殊なハーネスを使っています。



「高さ」に慣れても、慣れすぎない緊張感を持ち続けることが大切

今は、ゴンドラやロープを使って、ビルの窓ガラスや外壁の清掃を行っています。最初は下の窓の清掃から始め、手早く・キレイに仕上げられる技術が身についたら、ゴンドラやロープを使った高所の清掃に。初めて高所で作業した時は、「怖いけど、清掃しなきゃダメだし、横で一緒に下りてくれる先輩に遅れちゃいけないし…」怖いけど、怖いと思っている余裕がないような、不思議な感覚でしたね(笑)。

高所での作業は1年くらいで慣れましたが、「慣れる」のはとても危険なこと。ちょっとしたミスや気のゆるみが命に関わる仕事なので、慣れても油断せず、いつも緊張感を持つようにしています。

また、この仕事はスピードがとても重要。ゆっくり作業すると逆に疲れてしまうし、夏の暑い時期は熱中症の危険も高くなります。自分はまだまだ作業が遅いので、それが課題ですね。

作業中、ビルの中から子どもが手を振ってくれることも。学習塾が入っているビルの清掃をした時、子どもたちが窓際にワーッと集まってきたけれど、かわいいかったです(笑)。緊張感のある仕事ではありますが、思わず和んでしまいました。



翌日の作業に使う道具は、前日の夕方に準備しておきます。以前はぼっちやり体型だったのですが、この仕事をするようになってから、自然に体力や筋肉がついてきました。

失敗を失敗で終わらせないことが新たな挑戦への原動力になる

これからは、お客様からどんな問合せがあつても対応できるよう、ユービが請け負っているすべての業務に関わっていきたいと思っています。そのため、電気設備や工事など、ガラス清掃以外のいろんな業務にも首をつっこませてもらっています。

仕事は楽しいことはかりじやないし、悩むことも多いけど、自分はとにかくやってみようと思つています。失敗しても、それを次に活かせばマイナスでは終わらない。そんな気持ちが大切だと思います。

内藤さんのお仕事とは?

ガラス清掃

ビルやマンションなどのガラスを清掃する仕事。仕事場は小規模なビルから、高さ100メートルを超える超高層ビルまでさまざま。主に屋上から吊ったゴンドラやロープで高所に行き、スクイッジやウォッシュナーなどの器具を使って清掃作業を行う。ガラス清掃だけでなく、外壁の清掃や軽微な修繕を行うことも。どんな現場・作業でも求められるのは「安全」。確かな技術と安全に対する高い意識を持った高所作業のスペシャリストだ。

内藤さんの ある1日のスケジュール	
5:30	起床
6:30	出社 現場に車で移動。移動中に今日の作業の注意点を確認
7:00	1件目の作業スタート 作業は4~5人のチームで行うことが多い。清掃が終わったら車で次の現場へ向かう
12:00	昼食 体力を使う仕事なのでお昼はがっつり食べる
14:00	2件目の作業スタート
16:00	帰社 会社に戻ったら、翌日の作業の準備&他の部署との打ち合わせ
17:00	退社
18:00	帰宅 一人暮らしなので夕食は近所のラーメン屋さんに行くことが多い
21:00	入浴
22:00	就寝

株式会社ユービ

墨田区千歳2-5-4 TMビル5F
TEL 03-6659-4601

昭和54年設立。ビルメンテナンスやマンション管理、リフォーム工事など、建物の資産価値を保ち、高めていくための事業を展開している。ビルメンテナンス事業では、清掃や室内環境の測定、水質調査、害虫駆除、廃棄物処理、電気・空調・給排水・衛生・輸送・防災設備の保守管理、警備など、幅広い業務を行っている。民間のオフィスビルやマンション、商業施設だけでなく、教育機関や官公庁の管理も請け負っている。



実際の作業を見て、チームワークの大切さを実感。現場を経験しないと分からない、仕事の苦労や安全への思いが聞けてよかったです。